

第4回 小松島市立学校再編準備会議 会議録（要旨）

【概要】

1. 日時： 令和5年1月19日（木）午後3時30分～午後4時8分まで
2. 場所： 小松島市保健センター 2階 多目的室
3. 参加者： 【委員】 住村洋昌委員、今川泰志委員、尾田幸運委員、山住涼子委員、森田充委員、曾我部裕司委員、藤本孝之委員、水本徳子委員、稲田米昭委員、井内健人委員、前田洋一委員、小林日登美委員
【傍聴者・取材記者】 3名
【基本計画策定等業務受託者】 株式会社長大 3名
4. 事務局： 【市教育委員会】 小野寺教育長、勢井副教育長、高瀬教育次長、稼勢学校再編推進室長、河口学校再編推進室係長、大野教育政策課長補佐、森井学校課長補佐、園田教育研究所員
5. 概要： ①開会
②議事
・ 専門部会の取組状況について
・ 新小学校の施設配置案について
・ 今後のスケジュールについて
③その他
④閉会
6. 議事経過： 次頁以降に掲載

【議事経過】

1. 開 会

○高瀬教育次長

それでは「第4回小松島市立学校再編準備会議」を開会いたします。

本日も新小学校施設の建設にあたっての基本計画とPFI導入可能性調査業務の受託先である株式会社長大のご担当者様にもご参加いただいております。また後ほどお話しいただく機会を設けさせていただきますので、長大の皆様よろしく願いいたします。

2. 議 事

(1) 専門部会の取組状況

①教育課程等部会

- ・第4回を12月21日に開催、新小松島南小学校の配置について検討

主な意見：防災上の問題がなければ3階建て

学童と施設を共用するときに管理上のルールは必要

午前は小学校、午後は学童で勤務するといった働き方で人材を確保してはどうか

教室は南向きが望ましいが、照明や空調の充実、黒板の反射に対する工夫ができればどの向きでもよい

廊下側の仕切りを可動式にし、教室と廊下を一体化したオープンスペースとして活用

教室の間を可動式の壁にし、広いスペースとして授業や集会等に利用

- ・第5回を1月16日に開催、新小学校の施設整備の考え方のまとめ

新小松島小学校の配置は、L字型校舎、D案とE案の折衷案

新小学校には教室と廊下を一体化したオープンスペースを設ける

新小学校には少人数指導等に活用できる多目的室、表現活動等の場として活用できる小ホールを設置

②総務部会

- ・第1回を12月20日に開催、学校と地域の連携のあり方について話し合い

主な意見：現在、様々な行事や交流活動が行われており、再編後も継続したい

地域人材やボランティアが参加しやすくさらにいかすことのできる仕組みが必要

地域と学校をつなぐコーディネーターが必要

新小学校を防災拠点とし、旧小学校でも地域の防災訓練や防災体験を行ってほしい

文化の継承はその地区だけでなく学校全体での取組にできるのでは
図書館等、地域に開放して利用できる施設があるとよい

③通学部会

- ・第3回を2月中旬に開催、前回の通学路調査をもとに想定通学路の見直しや道路整備等が必要な箇所について検討予定

(2) 新小学校施設配置案について

基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）より説明

- ・第2回会議での検討内容の確認
- ・折衷案について

○今川委員

駐車場に車は何台止められるのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

60台プラスアルファとお考えいただければと思います。60台は確保されています。

○尾田委員

緊急避難の時の人数に900人くらい差が出るのですが、もう少し増やすようなつくりに変えることはできるのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

緊急避難の人数は津波時の避難人数を想定しています。津波時の避難場所は屋上を想定してありまして、電気設備、エアコンの室外機等、津波被害をうけては困るものを置いてあります。それらを除いた面積で人数を割り出しています。設備の大きさも想定ですので、もう少し人数を増やすことは可能だと思います。例えば、現在体育館の屋根をドーム型の軽いものにしてコンクリートにしてそこまで避難できるようにするといった工夫は可能かと思います。

○尾田委員

ここで800人くらい救える命があるなら、検討していただけたらと思います。

○前田委員（会長）

折衷案の建築面積と延床面積を見たときに、前の案と比べて1フロアのゆとりが少な

くなっているように思うのですが。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

通風や採光をとるために吹き抜け、ライトコートを設定しておりまして、前の案ではライトコートが吹き抜けていない状態で計画しておりましたが、折衷案ではピロティから屋上まで吹き抜けている完全な四層吹き抜けになっています。そのために建築面積が小さくなっています。延床面積に対しての建築面積の余裕というところはこの部分を工夫すれば作り出せると考えています。

○前田委員（会長）

建築面積が前の案と比べて小さくなっている。前回の一方の案には吹き抜けがなく、もう一方には校舎の真ん中に2つある。今回の折衷案はそれが1つになった。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

1つになったというよりは、ひとまとめにしたということになります。

○前田委員（会長）

それで延床面積の減少につながったということですか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

はい、そうです。前回の案ですと建物の南北が狭いかたちになっていますが、折衷案では広がっています。

○前田委員（会長）

建物は長くなるほど回遊性は落ちる。長屋をつくと移動距離が長くなって回遊性は落ちるが、そのあたりの考えは。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

前回の案は確かに折衷案よりも移動距離が短いですが、西側道路の拡幅の可能性を考えますとその部分を空けないといけなくなります。そこで、そこにあった体育館を今回移動させたのですが、あまり移動させすぎるとグラウンドが狭くなることもあり、南北の幅、東西の長さを調整しつつ、しかも体育館をうまく校舎とつなぎ合わせるといったなかからできた案、距離は長くなりますが、快適な環境を整えるために配置を検討して折衷案としました。

○前田委員（会長）

教室が東側にのびていますよね。先ほどの部会の報告であった廊下を取り込んだオープンスペースをつくる時に、この南北の幅、廊下の状態で果たして確保できるのか、それから、体育館の移動先の話がありましたが、駐車場を南西へもってくるというような想定はされなかったのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

駐車場につきましては、歩車分離を条件として検討していますので、このあたりはそれがしづらいことになりまして、グラウンドも成形を保つことが難しくなりますので選択肢としてここは外す判断をしております。

○森田委員

北の方から車が入って南西の方へ出るというのは可能なのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

現状の計画では、できないことになっています。

○森田委員

それは歩車分離の観点からでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

はい。

○森田委員

私、南小松島小学校の校長なのですが、動線を考えるうえで、たいへん混み合う場所でもあるし、交通量の多いところでもありますので、十分検討してスムーズに車が入りできるように考えなければいけないと思っています。教育課程等部会でも車の動線について、どちらから入る、どちらから出るというのがいいのかもしいかなという意見もありましたので、そのあたりも含めて考えていただけたらと思います。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

交通量のお話は事務局からも計画の条件としてお伺いしています。県道も市道も交通量が非常に多いというところで、ピロティ側と北側と駐車場を分けていますが、どちら

も車が入れるようにして2方向から車が出入りできるようにしています。

○前田委員（会長）

事務局の考えを聞かせていただいて、その後またご意見があれば受けたいと思います。事務局の考えをお願いします。

○河口学校再編推進室係長

折衷案もほかの案と同様、あくまでも配置、規模感の大まかなイメージであって、具
体のことは今後の設計段階で決定していくことになります。その過程で修正等も起こり
えますが、事務局としては、この折衷案を基本計画段階における施設配置の考え方にし
たいと思っています。具体のことについては、次年度以降の基本設計や実施設計の業務
中で、検討しながら決めていけたらと考えています。

○前田委員（会長）

確認なのですが、基本計画における延床面積や建築面積の数値は基本設計にどのくら
い影響を与えるものなのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

案で示している面積は文部科学省の施設整備の基準面積以上になっています。それは、
事務局さんからの要望や学童施設の面積を確保したこと等によるもので、その条件どお
りに基本設計を行っていけばおよそ案で示している面積になると思います。ただ、基本
設計を検討する中で、社会情勢や教育面から諸室の必要不必要・増減が発生した場合は
変わってくることもあると思います。影響を与えるかどうかということについて、この
基本計画の条件で設計していくとおよそこのくらいの面積、内容になってくると思いま
す。

○前田委員（会長）

数値としては大きな意味をもって基本設計にいくということですね。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

はい、そういうことになります。例えば、もう少しグラウンドを狭くしてもいいから
校舎の南北を広げられないかというような考え方が出てきた場合面積は変わってくるこ
とになりますし、オープンスペースの部分をもう少し広げたいとなった場合延床面積や
建築面積は大きくなっていきます。

○尾田委員

他に折衷案はないのですか。1つだとこれに決まってしまうですね。

○前田委員（会長）

前回決まったのは、校舎の配置を南側にするというものでした。今回は、南側設置の校舎をL型にしてもいいか長方形のままでいいかということによろしいのでしょうか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

前の案のよいところを組み合わせで折衷していくことを目標に今回の案を検討しています。別の案ということでしたが、長方形型の校舎を体育館の位置を変えずにそのまま東へ移動させると、教室が収まりきらなくなり、南向きと東向きの教室が出て不公平とは言わないまでも室内環境が違ってきます。ですので、体育館を東に配置しておいて校舎を南北に膨らませて教室を配置していくのが最も公平な教室配置になると考えての折衷案になっています。

○今川委員

新しい小学校の全校生徒数に対してのグラウンドの広さは、このくらい必要なものなのでしょうか。

○稼勢学校再編推進室長

文部科学省の方で運動場の基準面積というのは決まっております、開校時の推定児童数 558 人に対して 5580 m²となりますが、やはり、運動場は広い方が教育活動がしやすいと思います。新小学校では、運動場で体育の授業を同時に 3 学級が行う時間が出てくるとしますので、広めに設定しております。

○今川委員

前の案では 150mトラックが1つだけだったのが、今回はさらに 100mトラックが増えるということで、先ほど森田委員からもあったように駐車場が分離しているのはどうなのかなと。体育館の下に停められなかったら外に出てまた停めなおすということになるので、北側の駐車場と体育館下とつなげてしまえばどうだろうと思いましたので。

○森田委員

運動場のことで言いますと、私は狭いのではないかと、もう少し広いといいなと思って

います。先ほど事務局からもあったように、同時で2学級、3学級が授業をすることがあり得ますし、現在もそうです。休み時間はたくさん子どもたちが遊ぶのですが、ぶつかからないか心配しています。おそらくこの広さで狭すぎるということはないと思うのですが欲を言えば広ければいいなと思っています。それで、教えてほしいのですが、教室のところと体育館のところの間が広がっていますが、これはなにか意味があるのでしょうか。例えば、体育館を南の方に少しでもずらしたら運動場がいくらか広がるのかなと思いましたので。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

グラウンドの広さについては、既存の面積より少し狭くなっています。なるべく既存の面積に近づけたいという思いでレイアウトを検討していますが、駐車場や校舎・体育館の配置等を考えますとどうしても既存の面積より狭くなってしまうのはご了解いただければと思います。

それから、体育館と教室の間についてのご質問ですが、こちらは採光や通風を廊下からもとりたいという考えからです。建築基準法でも通風と採光の基準はありまして、なるべく外気に面したスペースをとりたい、そういう考え方で真ん中にライトコートもつくっているのですけれども、それと同じ意味合いでここもスペースがほしいところになります。体育館を近づければグラウンドは広くできるかと思いますが、そこはもう少し具体的な細かな計算をして法の基準を満たすよう検討をする必要があります。その中で今後グラウンドを広くすることを検討していければと思います。

○前田委員（会長）

気になるのは、東側の出っ張っている教室のところがどん詰まりになっているところだと思います。確かに真ん中の教室をイメージすると、廊下が見えて吹き抜けがあって広々とした空間が視野に入るけれども、東側の教室はどん詰まりになっていてそこから先がないので、回遊というイメージに合わない。計画の中にどん詰まりがあるというところ、もう少し改善の余地がないかなと思います。そのあたり、今後考えることはできるのですか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

例えば、ここに廊下をつけてL型につなげていくという案も考えられるかと思います。

○前田委員（会長）

そうすると、延床面積と建築面積は変わりますよね。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

はい、変わります。

○前田委員（会長）

だから先ほどのどのくらい影響があるのかきいたのですが。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

回遊とオープンスペースの学年のまとまりの2つの視点で考えておりました、この図面上ではなかなかそれが表現できていないので説明しづらいのですが、今回は配置ということで、平面的な回遊ということと3クラスをひとまとまりとして考えています。

○前田委員（会長）

この学校のコンセプトはつながりということなのですが、いちばん端の学年はどうつながりますか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

オープンスペースの通過交通をなるべく出したくないという考えがありまして、オープンスペースで授業をしている脇を別の学年が移動するといったことをできるだけ避けるために、図面上には表示していないのですが、上下でつながるような階段、学年ごとで移動できるようなかたちで計画案を検討しているところです。

○前田委員（会長）

ショッピングセンターでもどこでもどん詰まりの店は誰も行きたくないと思うんです。回遊という視点で基本計画をつくったときにどん詰まりの教室があるのはどうかと。私はそこが気になるということです。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

分かりました。この部分のつながりについてということですね。

○前田委員（会長）

昔の学校ってだいたい端にはトイレとか図書室とか、あまりみんなが行かないものがあった。つながりというコンセプトを考えると、どん詰まりがないイメージ。延床面積、建築面積が決まっているところに、例えばL型をつけようとなると駐車面積が減るというようにいろんなところに影響を受ける。そのことについて考慮しながらL型のかたち

でいきますということで理解させていただいていいのですか。

○井内委員

L型というのがよく分からないのですが、普通教室から特別教室へ行くこの白い部分が廊下ですか。左右にある四角の部分、枠は何でしょうか。それから、体育館のところが駐車場になっていますが、先ほど60台とおっしゃたのは、ここと北側の駐車場をあわせて60台ということですか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

駐車場の台数につきましては、ピロティの駐車場と北側の駐車場のものになります。

白いところは廊下や共用部分とお考えいただければと思います。共用部分というのは、トイレ、階段といったものになります。

○井内委員

この白い枠がトイレになる。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

ライトコートに面している小さい四角は階段を想定しています。ここの四角はトイレを想定しています。

○井内委員

普通教室と特別教室をつないでいる1階と2階くらいで行き来ができるということですか。

○基本計画策定等業務受託者（株式会社長大）

ちょうど赤い枠で囲っている部分が通路として北側の特別教室とつながっているとお考えいただければと思います。

○前田委員（会長）

それでは、新小松島小学校の配置は折衷案をもとに今後検討していくということでしょうか。

○委員了承

○前田委員（会長）

では、そのように、事務局と長大様に検討していただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

（3）今後のスケジュールについて

- ・次回会議は2月中旬を予定、（仮称）新小松島南小学校配置案について協議

3. その他

- ・資料の取扱について
- ・報酬の振り込みについて
- ・第3回準備会議会議録の確認について

4. 閉会

○高瀬教育次長

本日は、お忙しい中ご参加くださり、また、活発なご議論ありがとうございました。
それでは、これで会議を終わります。次回もよろしくお願い申し上げます。